



北折 貴子
KITAORI, Takako

教授

< Linea italiana XII > - effimera (儚さ) -

- ドレス / イヴニングドレス -

タフタ (シルク 100%) チュールレース (ナイロン 32%, 綿 68%)
銀箔付けとビーズ刺繍

この世に生きとし生けるものは時と共に芽を出し、成長し、花開き、実を結び、種を落とす。その繰り返しにより世の中は成り立っている。しかし花開く輝きの日から生きながらにして、減びていく。それは誰にも止められない。美しさと若さを謳歌している時から密やかに少しずつ浸食され、朽ちていく様は気づかぬうちに、しかし確実にやってくる。その「儚さ」を受け止めて生きる。